

維新の里吉田 「地域とともにある学校」をめざして

下関市立吉田小学校

学校運営協議会について

① 実施回数

年間4回開催（そのうち2回が小中合同開催）

② 主な協議内容

- ・本年度の学校経営方針の説明と承認、学校運営協議会の活動について
- ・学校の状況説明（校務分掌担当者から成果や課題について）、学校評価の報告
- ・「心かがやく木屋川っ子の育成」をテーマに熟議（小中合同学校運営協議会）
- ・本年度の反省、学校評価の報告、来年度の学校運営方針の提案

特色ある活動

◆「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

地域と結びついた晋作プロジェクトの推進

高杉晋作ゆかりの「東行庵」とのかかわりを教育活動に位置づけることによって地域とのつながりを大切にする児童、地域に愛着と誇りをもつ児童の育成をめざしています。

- ・**東行庵奉仕作業**・・・毎年6月に全校児童で東行庵の清掃奉仕活動を行っています。この活動は、昭和19年から始まり74年間も続いている活動です。黙々と働く上級生の姿を通して、下級生はふるさとの宝を慈しむ心を学んでいます。今年度、快適な環境づくり山口県大会において「清掃美化優良団体」として表彰されました。
- ・**東行庵スケッチ**・・・春は桜、夏は菖蒲、秋は紅葉、そして早春の梅。東行庵の四季を彩る花のスケッチを通して、東行庵の美しさを感じるとともに東行庵が地域の誇りであることを学んでいます。
- ・**梅もぎ・梅ジュース作り**・・・東行庵の梅園は、美しさだけでなく、豊かな実りももたらしてくれます。梅をもいだ後は、ジュース作りをして、自然の恵みを体全体で味わう体験もしています。
- ・**東行庵でのパンフレット配布**・・・6年間を通して学んだ「晋作プロジェクト」の集大成として、6年生が、高杉晋作や東行庵、そしてふるさと吉田についてのパンフレットを制作し、吉田観光大使として庵を訪れる観光客に配布しました。本年度は、下関ジュニアPR隊としても活躍しています。東行庵に関係する人物や吉田のおすすめスポットを紹介するパンフレットを手にした人からは、「東行庵や吉田の良さがよく伝わってきます。」と声をかけていただき、次の活動のエネルギーになりました。
- ・**晋作塾**・・・高杉晋作について、児童・保護者・地域で学ぶ「晋作塾」を開催しています。毎回、様々な分野で活躍されている講師を迎え、晋作に関する勉強会を行っています。



来年度に向けて

子供たちにとって、「東行庵」は誇れる場所であり、晋作の志は未来の進むべき方向の道しるべとなっています。地域の力を借りながら、晋作について学ぶ機会をさらに充実することで、志を次世代に伝えていく世代をしっかりと育てていきたいと考えています。

「地域とともに歩む学校」をめざして

下関市立王喜小学校

学校運営協議会について

- (1) 実施回数 4回(そのうち小中合同学校運営協議会2回)
- (2) 主な協議内容
 - 王喜地区ふるさと協育ネットの活動との連携
 - 熟議
 - ・「心かがやく木屋川っ子の育成」をテーマに学校や家庭・地域が連携した具体的な8つの取組についての課題点と来年度に向けての取組について(中学校区委員、3校教職員、生徒会が参加)
 - ・学校組織との関わり、学校評価の結果を受けた学力向上や心の教育、幼保小中やまちづくり協議会との連携の推進について

特色ある活動

【図書支援】

保護者や地域の方で構成されている「本をひらく会」の皆さんに、毎週金曜日の朝や月1回の昼休みに、本読みを行っていただいています。下関いのちの日には、生命に関する絵本を読み、児童の優しい心を育てています。本のお楽しみ袋のイベントは子供たちに大人気です。また、図書の整理や修理、新書の選定などもしていただいています。寄贈書を集めた「ひとみ文庫」も継続しています。

【学習支援】

週に3日の購買部の運営、水泳指導や監視、ゲストティーチャー(王喜の郷)による出前授業、マシン操作補助などの授業支援、JAのご支援で、たけのこやアスパラの収穫、稲作やサツマイモ栽培などの食農教育、竹細工教室やしめ縄飾りづくりなどの伝統文化の紹介、王喜音頭の指導や春のお茶会の開催など、地域の特色を生かし、地域の伝統や文化の継承と発展に寄与していただいています。「かぐや姫の里づくりの会」の皆さんに作っていただいた竹楽器「アングルン」や「クロンブット」などを使い、下関市の音楽祭や地域の文化祭では合奏発表をしています。



<アングルンの演奏>

【安全安心支援】

毎日児童の登下校時に交差点や横断歩道での指導、集合場所から学校までの付き添いなど見守り活動をしていただいています。また、危険箇所も日々チェックし、学校からの情報配信メールにも対応し、児童の安全を見守っていただいています。さらに地域との合同避難訓練や持久走大会などの行事支援にもかかわってくださっています。

【環境整備支援】

「ひばり会」の団体を主にPTAと一体となって、木の伐採や除草、備品の修理など環境を整備し、児童の生活安全に貢献していただいています。今年度は運動場周辺の多数の枯れ木の撤去をしていただきました。また、季節に合わせた花壇の整備や校内に生花を飾ってくださることで、児童のやさしい心の醸成にも役立っています。自治会の方にもご協力いただき、地域貢献活動の一環として、学校を見下ろす城山の美化清掃活動を行い、現地での地域学習にも役立っています。

来年度にむけて

学校運営に係る課題や重点取組についてのテーマを具体的に設定し情報を共有することで、年を追うごとに家庭や地域の力も結集できている手ごたえを感じます。これからも中学校区を基本に、学校や地域間の課題を共有し、連携の明確な組織化を図り、実践・協働への意識をさらに高め、「地域とともに歩む学校」でありたいと考えます。

「心かがやく木屋川っ子の育成」に向けて



本校マスコットキャラ：コヤガワニポン

下関市立木屋川中学校

学校運営協議会について

学校運営協議会は、例年本校独自のものを年2回、小中合同のものを年1回実施しています。

11月に実施した小中合同学校運営協議会には、本校生徒会役員も参加し、中学校生活の現状と課題について発表を行いました。この発表により、中学校の様子について校区全教職員と学校運営協議会の委員で共通理解できたこと、9年間で育てたい「木屋川っ子」の姿を本校生徒と重ね合わせながら共有できたことなど、とても意義深い時間となりました。

また「熟議」においても、各グループに生徒が加わり、積極的な意見交換を行いました。今年度は、これまで取り組んできた活動を振り返り、来年度以降に行う具体的な取組事項について協議しました。生徒の参加によって、「熟議」の深まりがなされたばかりでなく、生徒が「ふるさと木屋川」を実感する貴重な時間にもなりました。



生徒会役員による発表の様子



生徒会役員が参加した「熟議」の様子

特色ある活動

◆「美化美化（ピカピカ）大作戦」

平成25年度の学校運営協議会の「熟議」の中で発案され、翌26年度より小・中学生を巻き込んだ地域行事として始まった活動です。

今年度も王喜、吉田両地区が6月3日（日）の同日に開催し、小・中学生と地域の方々と協働で住んでいる地域の環境美化に取り組みました。

◆「木屋川キラキラフォーデイズ」

木屋川の5（こ）と8（や）にちなみ、毎月5日から8日までを「心かがやく4日間にしたい」という思いでつくられた取組です。小中連携の取組の一つとして位置付けられています。学校・地域行事とも関連させ、毎月テーマを設定しています。とりわけ、今年度は、「あいさつ」と「ノーメディア」に重点を置き、取組を推進してきました。



吉田地域での「美化美化大作戦」の様子

来年度に向けて

地域のコミュニティの強さを活かして様々な取組が行われており、生徒たちは、幼い頃から地域とのかかわりが深いと言えます。今後は、「地域を担う一人の“地域人”として、どう地域とかわかっていくのか」について生徒たちに意識付けていくという「地域貢献」の視点からの取組が求められてきます。

今年度の「熟議」で提案された数々の具体的な取組を実践し、それを価値付けながら、『ふるさとを愛する心の育成』へとつなげていきたいと思っています。